

WV-S4176J

## 取扱説明書について

本機の取扱説明書は以下の構成になっています。

- 取扱説明書 設置編（本書）：

本機の安全上の注意、設置上のお願い、設置方法について記載しています。

- 取扱説明書 基本編（下記マニュアルウェブサイト内）：

本機の使用上のお願い、詳細仕様について記載しています。

- 取扱説明書 操作・設定編（下記マニュアルウェブサイト内）：

本機の操作や設定方法について記載しています。

[https://biz.panasonic.com/jp-ja/products-services\\_security\\_support\\_manual-dl](https://biz.panasonic.com/jp-ja/products-services_security_support_manual-dl)

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

●ご使用前に「安全上の注意」を必ずお読みください。

●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

●SDXC／SDHC／SDメモリーカードをSDメモリーカードと表記しています。

●製品の改良などにより、ご使用上影響のない範囲で、記載されている外観などが実際の製品と異なる場合があります。

パナソニックi-PRO  
センシングソリューションズ株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

\*PGOX2486ZA\*

Printed in China

© Panasonic i-PRO Sensing Solutions Co., Ltd. 2021

## 保証とアフターサービス（よくお読みください）

## 使いた・お手入れ・修理などは

## ■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

## 販売店名

電話（　　）－お買い上げ日 年月日

## 修理を依頼されるときは

●製品名 ネットワークカメラ

●品番 WV-S4176J、WV-S4156J

●故障の状況 できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

※「日本エリア」でお使いの場合に限ります。日本以外でお使いの場合のサービスはいたしかねます。

## ■使いた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

## ■その他不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリー 0120-878-410 受付：9時～17時30分  
(土・日・祝祭日は受付のみ)  
※携帯電話 PHSからご利用になります。ホームページからのお問い合わせは <https://panasonic.biz/cns/cs/cntctus/>ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。  
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

## 【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知してあります。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

## 注意：

- カメラに接続される直流電源は同じ建屋内になければなりません。
- 外部施設からの屋外引き込みケーブルが直接接続されているネットワークに、本機を接続しないでください。
- 本機に電源スイッチはありません。この製品に電力を供給する機器の主電源を遮断できるように、ブレーカーなどの遮断デバイスを必ず設置してください。
- 本機にはDC 12 Vのクラス2電源（UL 1310/CSA 223）か、供給電力が制限される有限電源（IEC/EN/UL/CSA 60950-1, IEC/EN/UL/CSA 62368-1 Annex Q）またはIEC/EN/UL/CSA 62368-1 PS2を使用してください。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

## 注記：

- 本機は子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。
- 一般の人が容易に触れることができる場所への設置はしないでください。
- 本機は業務用機器です。
- 設置に必要なねじやその他の部材などの情報については本書の該当部分を参照してください。

■ ■ ■ 直流電源記号

## 安全上のご注意

## 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

## ■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

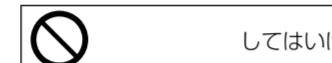


警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

## ■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

## ! 警告

■異物を入れない  
(水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。  
⇒直ちに電源を切り、販売店に連絡してください)■可燃性ガスの密閉圏中で使用しない  
(爆発によるけの原因となります。)■塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない  
(取扱部が劣化し、落下によるけや事故の原因となります。)■落とさない、強い衝撃を与えない  
(けがや火災の原因となります。)■SDメモリーカードは、乳幼児の手の届く所に置かない  
(誤って飲み込むおそれがあります。)  
⇒万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。■ぶら下がらない、足場代わりにしない  
(けがや事故の原因となります。)■電源ケーブルを破損するようなことはしない(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)  
(傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。)  
⇒修理の際は販売店にご相談ください。■分解しない、改造しない  
(火災や感電の原因となります。)  
⇒修理や点検は、販売店に依頼してください。

■ 分解禁止

■ 雷が鳴りだしたら、本機や電源ケーブル、接続したケーブルに触れない(工事時を含む)  
(感電の原因となります。)

■ 本機の取扱場所について

設置場所はお買い上げの販売店とよくご相談のうえ、丈夫な壁面や天井などをよく選んで設置してください。

●強度が十分ある天井(コンクリート天井など)に取り付けください。

●建築物の基礎部分、または十分な強度がある部分に設置してください。

●石こうボードや木部は強度が弱いで取り付けないでください。やむを得ず取り付ける場合は、十分な補強を施してください。

■ 本機は屋内専用です

屋外での使用はできません。長時間直射日光の当たるところや、冷・暖房機の近くには設置しないでください。

変形・変色または故障・誤動作の原因となります。また、水滴や水沫のかからない状態で使用してください。

■ 以下のような場所での設置および使用はできません

●ブルーなど、薬剤を使用する場所

●ちゅうう房などの蒸気や油分の多い場所

●溶剤および可燃性物質などの特殊環境の発生する場所

●放射線やX線、および強力な電波や磁気の発生する場所

●海上や海岸通り、および火山地帯・温泉地などの腐食性ガスが発生する場所

●使用温度範囲を超える場所

●車両、船舶や工場ラインなどの振動の多い場所(本機は車載用ではありません)

●雨や水が直接かかる場所(軒下なども含む)

●湿気やほこりの多い場所

●エアコンの吹き出し口近くや外気の入り込む扉付近など、急激に温度が変化する場所

●硫黄を含むゴム製品(パッキンやゴム足など)が近くにある場所

■ 取付ねじの締め付けについて

インパクトドライバーは使用しないでください。ねじが破損したり締め付けすぎたりします。

■ 外光や赤外線照明の反射について

外光の入射角によって、画面にコーストが現れることがあります。また赤外線照明を使用する場合、本機を壁面などの近くに設置すると、赤外線が反射して画面の一部または全体が白っぽく見えることがあります。

●画像事例と対処の方法についてはサポートウェブサイト&lt;管理番号：C0109&gt;を参照してください。

■ 雷に対する保護について

ケーブル類を屋外で引き出す場合は、雷の影響を受けることがあります。その場合は、本機のすぐ近くに避雷器を設置し、雷の影響を受けないように、本機と避雷器間のネットワークケーブル長をできるだけ短くなるように配線してください。

■ ノイズ障害が考えられる場合

テレビやラジオの送信アンテナからの強い電界、モーターやトランス、AC100 V以上の電力線(電灯線)からの強い電界・磁界の近くでは、映像や音声にノイズが入ります。

●電線事例と対処の方法についてはサポートウェブサイト&lt;管理番号：C0109&gt;を参照してください。

■ 本機を使用しなくなった場合は放置せず、必ず撤去してください。

■ 本機に電源スイッチはありません

電源を切る場合は、DC12 V電源、あるいはPoE給電装置の電源をOFFにしてください。

■ 電池について

本機は内部に電池が組み込まれています。電池は、日光、火などにより過度の熱にさらされる環境に放置しないでください。

■ 本機の識別および定格表示について

本機の識別および電源、その他の表示は本機の底面銘板をお読みください。

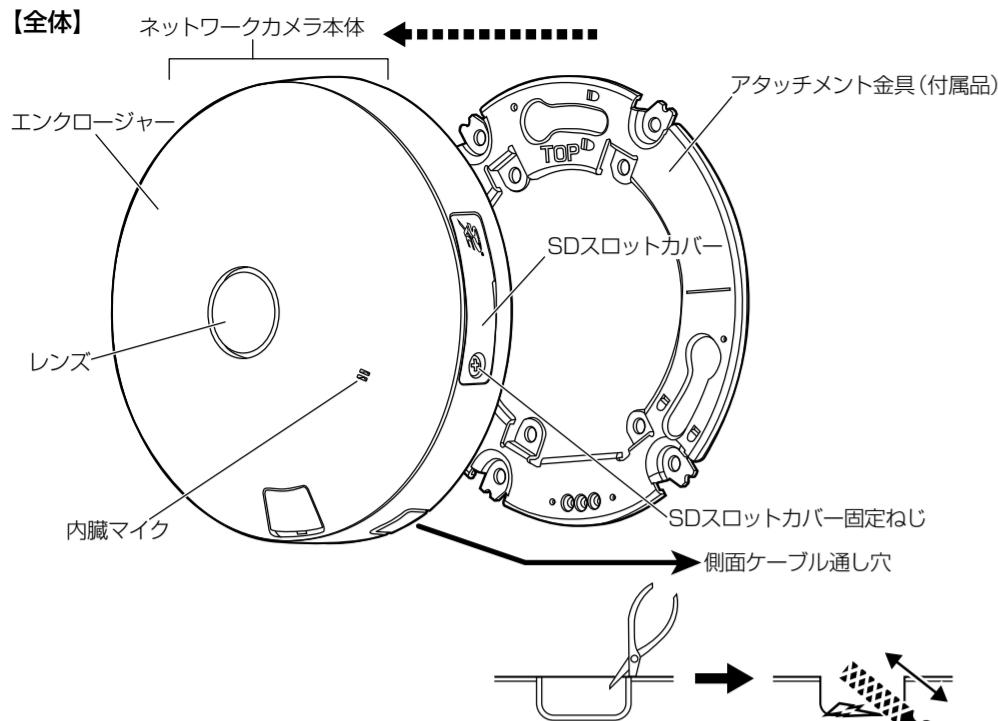
■ VCCIについて

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。

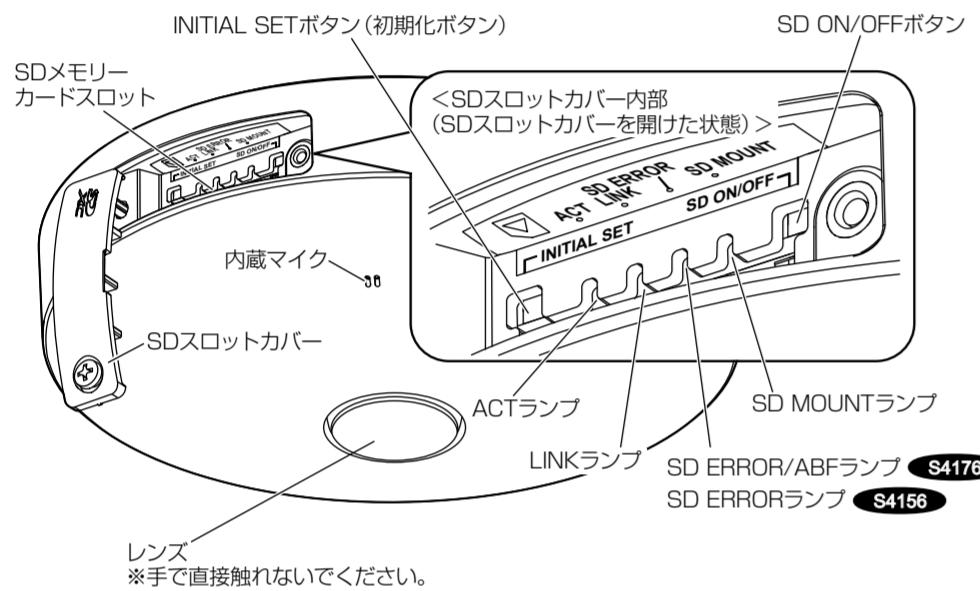
●VCCI-A

この装置は、VCCI-Aに登録されています。

## 各部の名前



## 【ランプおよびボタン】



## ■ランプ

<b>メモ</b>	● ランプの点灯/点滅はソフトウェアの設定で常時消灯することができます(初期状態は点灯および点滅)。設定については「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。
<b>LINKランプ</b>	
接続機器と通信可能になったとき	橙点灯
<b>ACTランプ</b>	カメラがデータを送受信したとき 緑点滅(アクセス中)
<b>SD MOUNTランプ</b>	SDメモリーカードを挿入して認識できたとき 消灯→緑点滅→消灯 SDメモリーカード挿入後、SD ON/OFFボタンを押し(1秒以下)、保存可能な状態になったとき 緑点灯 SDメモリーカードに保存できる状態のとき 緑点灯 SD ON/OFFボタンを長押し(約2秒間)してSDメモリーカードを取り出すとき (録画中) 緑点灯→緑点滅→消灯 (録画待機中) 緑点灯→消灯 SDメモリーカードに異常が発生している場合や未使用に設定している場合など保存できない状態のとき 消灯
<b>SD ERROR/ABFランプ</b> S4176	赤点滅(1回/秒)
ABF(オートバックフォーカス)実行中	S4176
カメラが起動中	赤点灯
正常にSDメモリーカードが認識されたとき	赤点灯→消灯
起動後SDスロット未使用もしくはSDメモリーカード異常が検出されたとき	赤点灯→赤点灯のまま
<b>SD ERRORランプ</b> S4158	

## ■ボタン

- INITIAL SETボタン(初期化ボタン)**  
本機を初期化する場合は、以下の手順で実施してください。正常に起動しない場合は、もう一度やり直してください。  
電源を切る → ボタンを押しながら電源を入れる 15秒 → ボタンを必ず離す 約2分 本機が起動し、ネットワーク設定データを含む設定が初期化されます。

### ※初期化中は電源を切らないでください。正しく初期化されなかったり、故障の原因になったりすることがあります。

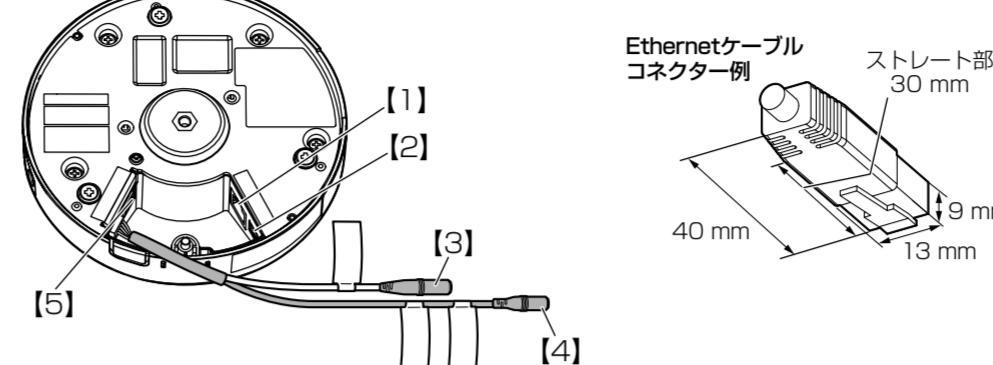
### ● SD ON/OFFボタン

- ・ボタンを押し(1秒以下)とSD MOUNTランプが緑点灯し、SDメモリーカードへのデータ保存が可能になります。
- ・ボタンを長押し(約2秒間)するとSD MOUNTランプが消灯し、SDメモリーカードの取り出しが可能になります。

## Step3 接続する

### 重要

- 本機に電力を供給できるデバイスは、PoEハブ/PoE給電装置またはDC12V外部電源です。
- ケーブル類を接続する前にシステムの電源を切断しておいてください。



[1] RJ45ネットワーク端子と、Ethernetケーブルを接続する。

[2] ACアダプターまたは外部電源を接続する場合は、電源用端子台(付属品)を使用してカメラに接続する。

- ① ACアダプター(WV-PS16(別売)または市販品)の出力ケーブルの外皮を3mm~7mmむき、より線を剥離させるよう加工して芯線をよくよじる(WV-PS16を使用する場合は、ケーブル先端半田付け部分を除去する)。
- ② 外部電源を接続する場合は、AWG 16~AWG 24単線、またはより線を使用してください。
- ③ 電源用端子台のねじをゆるめ、ACアダプターの出力ケーブルを電源用端子台へ挿入する。
- ④ 電源用端子台のねじを締める(推奐締付トルク: 0.34 N·m(3.5 kgf·cm))。
- ⑤ 電源用端子台をカメラの電源接続端子(DC12V)に取り付ける。

[3] 必要な場合は、オーディオ入力端子とマイクまたは外部音声ラインを接続する。

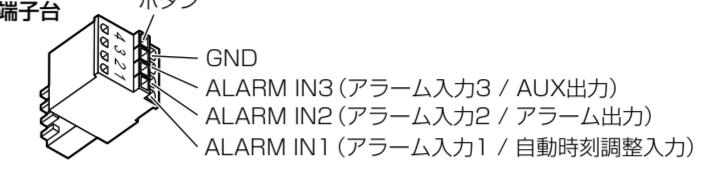
[4] 必要な場合は、オーディオ出力端子とアンプ内蔵の外部スピーカーを接続する。

### メモ

- オーディオ出力はモニター出力へ切り替え可能です。切り替え方法については「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

[5] 必要な場合は、外部I/O用端子台(付属品)を使用してカメラに接続する。

- ① ケーブルの外皮を8mm~9mmむき、ショートなどがないように、芯線をよくよじる。
- ② ポールペンの先などで接続したい外部I/O用端子台のボタンを押し、ケーブルを穴の奥まで確実に差し込んでボタンを離す。
- ③ 外部I/O用端子台をカメラの外部I/O端子に取り付ける。



[メモ] ● 1つの端子に2本以上の線を接続しないでください。2本以上接続する必要がある場合は、本機外部で線を分岐させてから、接続してください。

● 外皮を切断した芯線が外部I/O端子から露出せず、確実に接続されていることを確認してください。

● お買い上げ時は、外部I/O端子は「Off」に設定されています。外部I/O端子の設定については「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

● 必要に応じて、結束バンド(付属品)で各ケーブルをまとめてください。

## Step1 準備をする

[1] カメラ本体に付いている電源用端子台(付属品)と外部I/O用端子台(付属品)を取り外す。



[2] 必要な場合は、右下の「SDメモリーカードの取り付け・取り外し」の「■SDメモリーカードを取り付ける」を参考にしてSDメモリーカードをあらかじめ取り付ける。

[3] 必要な場合は、オーディオ入出力端子にオーディオケーブル(付属品)を接続する。

- メモ**
- オーディオケーブル(付属品)を取り外すときは、コネクターのツメ部を押さえながら引き抜いてください。

[4] 必要な場合は、本機をWV-Q180(カメラ取付台・別売り)を使って天井に固定する。

- ① 本機の底面に付いているワイヤー取付金具固定ねじを外し、そのねじを使用してワイヤー取付金具(付属品)をカメラに取り付けます。

- 重要**
- ワイヤー取付金具(付属品)は、右イラストの拡大図が示す向きになるように取り付けてください。
  - 取り付けは、必ずワイヤー取付金具固定ねじを使用してください。長さの違うねじを使用すると、落下や故障の原因となります。



- ② 落下防止ワイヤー(WV-Q180: 付属品)を落下防止ワイヤー取付穴に取り付けます。

- 落下防止ワイヤー(WV-Q180: 付属品)の取付手順は、WV-Q180の取扱説明書を参照ください。

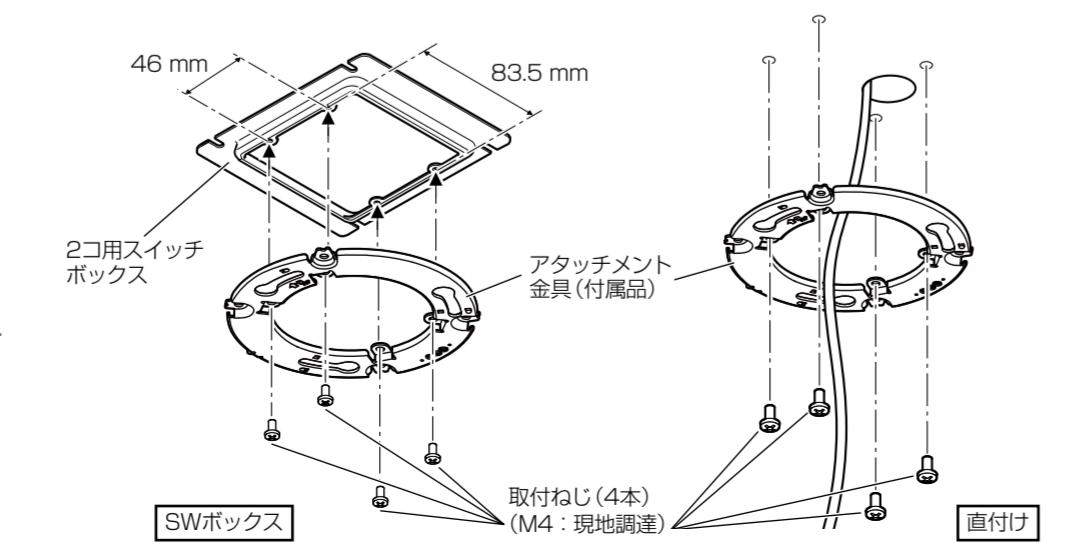
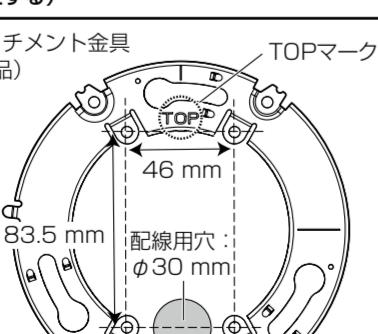
## Step2 設置面を加工する(取付タイプに合わせて加工する)

**共通** 最低引抜強度: 196 N (20 kgf) / 1本あたり

**SWボックス** 2コ用スイッチボックスにアタッチメント金具(付属品)を使って取り付ける。

**直付け** 型紙Aを使って設置面に固定用の穴を開け、アタッチメント金具を使って天井や壁面に直接取り付ける。

- メモ**
- アタッチメント金具(付属品)は「TOP」マークが、設置面と反対側(カメラ取付側)を向くように取り付けてください。
  - アタッチメント金具(付属品)のTOP方向を撮影方向(画面の上方向)に合わせ、固定用穴及び配線穴(必要な場合)を開けてください。ダブルパンoramでご使用の場合は、型紙のTOP2方向を撮影方向(画面の上方向)に合わせてください。ダブルパンoramの詳細は、サポートウェブサイト<管理番号: C0126>と同梱されている「ダブルパンoram画像使用時の設置について」チラシを参照してください。設置完了後、カメラ本体をPAN方向に±5°で調整できます。



## Step5 調整する

PCの画面上で撮影映像を確認して、画面の上方向(カメラの向き)を微調整することができます。

カメラの固定は、LOCKマークのセンターの「|」を0°とし、0°(センター)、+5°(右方向)、-5°(左方向)の3箇所で固定することができます。

[1] サポートウェブサイトの「IP簡単設定ソフトウェア」<管理番号: C0123>または「i-PRO設定ツール(iCT)」<管理番号: C0133>をダウンロードして起動し、ネットワークに接続する。



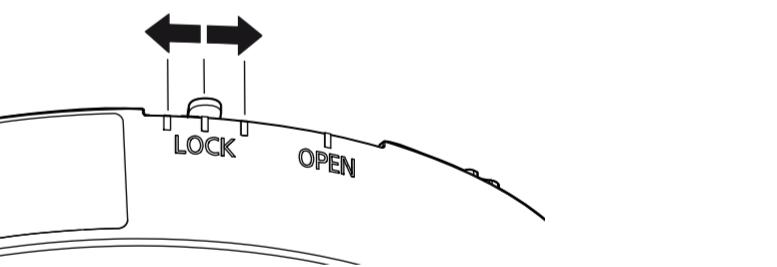
[2] カメラ固定ねじカバーの隙間に小さなマイナスドライバーなどの先を差し込み、カメラ固定ねじカバーを開け、カメラ固定ねじを緩めます。

- 重要**
- カメラ固定ねじを緩めると、カメラが仮固定状態になります。



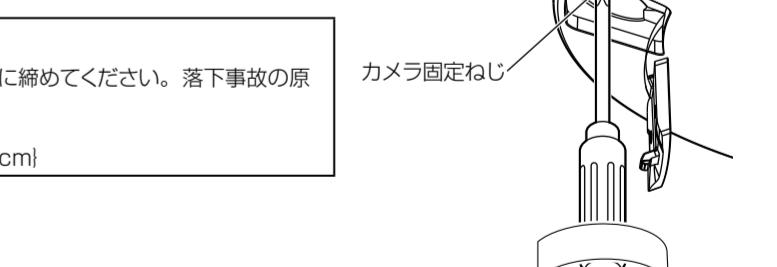
[3] PCの画面上で撮影映像を確認しながらカメラを時計方向もしくは反時計方向にLOCK位置を変更して、映像の向きを微調整する。

- 重要**
- カメラを反時計方向に回し過ぎるとカメラがアタッチメント金具から外れますので、回し過ぎないように注意ください。



[4] カメラ固定ねじを締め、カメラをしっかりと固定し、カメラ固定ねじカバーを閉める。

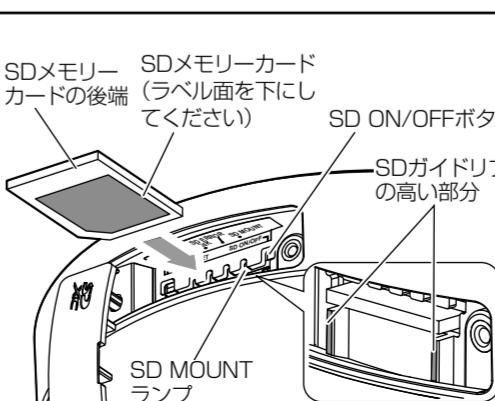
- 重要**
- カメラ固定ねじは確実に締めてください。落下事故の原因になります。



## SDメモリーカードの取り付け・取り外し

### ■ SDメモリーカードを取り付ける

- ① SDスロットカバー固定ねじを緩め、SDスロットカバーを開く。
- ② SDメモリーカードの後端がSDガイドドリップの高い部分まで入るように押し込み、カチッと音がすることを確認する。
- ③ SDメモリーカードから指を離して、SDメモリーカードの後端がSDガイドドリップの低い部分より飛び出していることを確認する。
- ④ SD ON/OFFボタンを押し、SD MOUNTランプが点灯していることを確認する。(SD ON/OFFボタンを押さなかった場合、約5分後に自動的にSD MOUNTランプが点灯します。)
- ⑤ SDスロットカバーをもの位置に取り付ける。



### ■ SDメモリーカードを取り外す

取り外す場合は、取り付けと逆の手順で取り外してください。SD ON/OFFボタンを長押し(約2秒)し、SD MOUNTランプが点滅から消灯に変わったことを確認してからSDメモリーカードを取り出してください。

- 重要**
- 本機の電源を切る前に、必ずSD MOUNTランプが消灯していることを確認してください。

- メモ**
- SDメモリーカードを使用する場合は、本機でSDメモリーカードをフォーマットしてから使用してください。設定、フォーマットのしかたは、「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。
  - 最新的動作確認済みSDメモリーカード情報などは、サポートウェブサイト<管理番号: C0107>を参照してください。